



「平成27年度 秋田大学男女共同参画推進フォーラム」を開催しました

平成27年12月22日（火）本学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー大セミナー室において、「平成27年度秋田大学男女共同参画推進フォーラム」を開催しました。

当日は、本年9月に実施した「秋田大学教職員の男女共同参画推進に関する意識調査」の集計及び分析結果を4つの項目に分け、各項目の分析を担当した男女共同参画推進専門委員会委員より報告があり、全学的な集計結果のほか、部局毎に見られる傾向及び今後の課題等について、まとめられた資料をもとに進められました。

報告後の質疑応答では、休暇や休業等利用できる制度についての相談窓口はあっても認知度は低いとの集計結果から周知方法についての質問や意見が出るなど、意識調査の結果から今後の男女共同参画を推進していく上での課題も見え、大変有意義なフォーラムとなりました。

開催後のアンケートでは、「男女共同参画を推進する上でも地道な活動が重要」「意識調査の報告という点では分かりやすいフォーラムであったが、制度の説明やもう少し分析的な視点があってもよかった」等の声が寄せられました。



男女共同参画推進
専門委員会委員による報告

分析及び報告項目		報告担当委員	
1	秋田大学での男女共同参画について	教育文化学部	和 泉 浩 准教授
2	男女共同参画への関心と育児休業等について	工学資源学研究科	石 沢 千佳子 講師
3	育児との両立支援と介護休業等について	医学系研究科	熊 澤 由美子 講師
4	介護休業等の利用と研究支援員制度について	国際資源学部	中 村 裕 教授

「メンターのための相談の受け方講座」を開催しました

平成27年11月27日（金）15時より、本学総合研究棟多目的共用講義室において、「メンターのための相談の受け方講座」を開催しました。

当日は、秋田大学男女共同参画推進室コンシェルジュ・デスク専任カウンセラーで臨床心理士の小野貴子氏を講師に迎え、基本的な相談の受け方について学びました。

講演後はグループに分かれアイスブレイクとして伝言ゲームが行われ、和やかな雰囲気になったところでそれぞれがメンター役とメンティ役になり、実際に相談をする実習が行われました。

終了後のアンケートでは、「話を聴く、メンターとしての役割がよく理解できた」「実習が非常に役立った」等の感想が寄せられました。



講演の様子

第5回秋田大学優秀女性研究者表彰が行われました

平成27年12月3日（木）第5回秋田大学優秀女性研究者表彰が行われ、今年度は3名の女性研究者が表彰されました。

【受賞者】

- | | | | | | |
|--------------|--------|-----------|------|-----|--------|
| ・ 国際資源学部 | 国際資源学科 | 資源開発環境コース | 特任助教 | 若 狭 | 幸 先生 |
| ・ 教育文化学部 | 地域文化学科 | 地域社会講座 | 准教授 | 小野寺 | 倫 子 先生 |
| ・ 医学部附属病院精神科 | | | 助教 | 菊 池 | 結 花 先生 |

受賞された先生方に、ご自身のワーク・ライフ・バランスについて、どのように維持されているかがいきました。

若狭 幸 先生



睡眠時間をきちんととることと、朝食と夕食は家で食べることにしています。仕事をしているとついつい夢中になって夜遅くまで続けてしまいそうになるのですが、子供が小さいのは今のうちだけですので、できるだけ家に帰るようにしています。

また、出張も月に1回までと決めています。外でできる勉強や出会いもあるのですが、やはり今はなるべく子育てに重きを置きたいと思っています。

とはいえ、夜まで論文を書いて実験している男性研究者を見るとうらやましく思いますし、土日もずっと育児・家事で疲れますのでワーク・ライフ・バランスが維持されているとは思っていません。

ですが、そんなに充実しているのは今のうちだけと先輩たちがおっしゃっているので、こんな時間も経験と思って楽しみたいと思っています。



小野寺 倫子 先生



研究は基本的に大学の研究室で行い、休日のメールチェックなどは別として、自宅には仕事を持ち帰らないようにしています。

大学院生のころから研究は大学の研究室で行う習慣でしたので、現在では、このような仕事と生活のスイッチの切り替えは習慣化しています。



菊池 結花 先生



共働きで、もうすぐ5歳になる娘がいます。睡眠不足のことが多く、肉体的にはきつく感じる事が多いです。

何をするにも時間は限られますが、仕事・育児・家事と、その時々に取り組む事柄に集中するよう努めて気持ちを切り替えています。

周りの人にたくさん助けてもらい、なんとか毎日を乗り切っています。



先生方には、若手女性研究者及び研究者を目指す女性にとってのロールモデルとして、ますますのご活躍を期待します！

授賞理由や研究内容等については、ココロニホームページでご紹介しております。ぜひご覧ください。

「女性大学院生・学部生のための研究施設見学会」を開催しました

「女性大学院生・学部生のための研究施設見学会」を2月9日（火）及び10日（水）の2日に渡り開催し、女性研究者支援コンソーシアムあきた参画機関の研究施設を計8名の大学院生及び学部生が訪問しました。

研究機関では、それぞれの研究室を担当する研究員が、行っている業務や研究内容について、実際に使用している実験機器や使用する材料のサンプル等を見せながら詳しく説明してくださいました。参加者は、サンプルに触れたり、メモをとったりしながら真剣に説明に聴き入っていました。

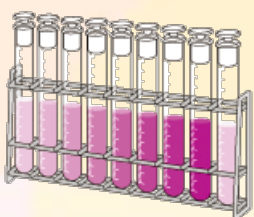
施設見学後には、女性研究者との交流会も開かれ、参加者は研究職の魅力ややりがいについて、結婚・出産後の仕事と家庭の両立について等質問し、研究職に対するイメージを膨らませている様子でした。

終了後のアンケートでは、「視野も広がり、とても貴重な経験ができた」「これから就活が始まるが、研究職に就きたいと改めて思わせてもらえる良い機会となった」等の声が寄せられました。

開催日	訪問先
2月9日（火）	秋田県総合食品研究センター
	秋田県産業技術センター
2月10日（水）	秋田県健康環境センター



説明を受ける大学院生・学部生



渡部男女共同参画推進室長がパネリストとして登壇しました

去る平成27年10月23日、東京都千代田区の一橋講堂において国大協主催の『第14回大学改革シンポジウム「女性の活躍促進」』が開催されました。

本学からは、渡部育子男女共同参画推進室長がパネルディスカッションのパネリストとして登壇し、本学における女性の活躍の現状や課題等について発表した後、他大学からの4名のパネリストとともに、今後の大学における女性の活躍促進について活発な討論を行いました。



講演の様子

教養教育科目『男女共同参画社会論』を実施しています

男女共同参画を推進する意義を学修し、社会人としてのキャリア形成やワーク・ライフ・バランスの意識を涵養することを目的とし、教養教育科目として「男女共同参画社会論」の講義を平成25年度後期より、全学部の学生を対象に実施しています。

3年目となる今年度も、わが国の男女共同参画の実情と課題に関して、毎回違う講師がオムニバス形式で講義を行い、今年度は43名の学生が受講しました。

最終回となる11月16日に受講者を対象に、受講理由や感想等についてアンケートを実施しました（回答者35名）。

「男女共同参画」ということばについて、受講前はどのような状態であったか、受講後はどのように変化したかの質問については、受講前は「なんとなく知っていた」が26名と半数以上でしたが、受講後には「理解を深めることができた」（25名）、「内容を理解できた」（12名）と変化がみられました。

また、受講の感想では、「男女共同参画について、様々な角度から考えることができてよかった」「体験談を基に話を進めてくださった講義が多く、わかりやすかった」「男女がそれぞれに尊重しあえる社会が大切だと思った」等の声が寄せられました。



コンシェルジュ・デスク専任カウンセラー交代のお知らせ

平成25年度より当室コンシェルジュ・デスク（支援相談窓口）専任カウンセラー相談を実施しておりますが、この度、専任カウンセラーが後藤優子先生に交代することとなりました。

カウンセラーの交代により、相談日も毎週木曜日から毎月第1・第3月曜日15:00~16:30に変更となります。

ご相談については、引き続き完全予約制となっておりますので、カウンセラーへの相談を希望される方は、男女共同参画推進室コンシェルジュ・デスクまでご連絡ください。

【相談日時】（平成28年4月～）

毎月 第1・第3月曜日
15:00~16:30

【相談予約】

男女共同参画推進室コンシェルジュ・デスク
TEL: 018-889-3183
E-mail: coloconi@jimu.akita-u.ac.jp
HPからもご予約いただけます。



発行：国立大学法人秋田大学男女共同参画推進室
〒010-8502 秋田市手形学園町1-1
電話：018-889-2260
<http://www.akita-u.ac.jp/coloconi/>